



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局／福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場／いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日／毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：阿部 弘行 幹事：佐々木貢一 発行：会報・広報委員会

第 3186 例会 (30号) 2020 年2月 15 日(土) 晴

いわき分区インターシティーミーティング



祝辞を述べる芳賀ガバナー

国際ロータリー 2530 地区の2019-2020年度いわき分区インターシティーミーティング (IM) が15日、スパリゾートハワイアンズで開かれました。「新たな奉仕プロジェクトの挑戦」をIMテーマに掲げいわき常磐勿来RCをホストクラブに、10ク

ラブから約150人が参加しました。いわき平RCからは阿部弘行会長はじめ18人が参加しました。

上村直人いわき分区ガバナー補佐が「IMは一人にも二人にも親睦が目標。楽しく語り合い、情報交換してください」と述べ、磯上佐太彦実行委員長、常磐RCの佐久間守人会長があいさつしました。芳賀裕ガバナーは祝辞の中で各クラブ公式訪問後にあった台風19号の被害について触れ、「一日も早い復旧復興をお祈りします。地区では復興に関わる奉仕活動に義援金をお願いし、現在500万円を超える銭が集まっています。ぜひ、有効に活用してください。来年は日本のロータリー 100年の年になります。色々なつながりを大切に、来年を迎えてください」と呼び掛けました。いわき内郷ロータリークラブが次期ホストクラブとなることが発表され、国井良夫会長、林義功次期ガバナー補佐があいさつしました。

米山記念奨学会奨学生の紹介がありました。チンナラット・ウォラチョット・アイリンラダーさん (タイ=いわき小名浜)、朴相俊 (韓国=いわき勿来)、テッテッティリチョさん (ミャンマー=いわき平中

央) がそれぞれ母国といわきの架け橋となる決意を述べました。



抱負を語る米山奨学生

第二部では東洋システム代表取締役の庄司秀樹氏が「いわきを世界一の復興都市に～子どもたちの未来のために」の題で講演しました。庄司氏はカーボンフリーを目指す本県の水素産業と蓄電池産業を説明し、産業構造が西高東低になっている中で、国土強靱化の観点からいわきを中心とした浜通りに蓄電池産業を集積することが有益である点を訴えました。いわきで進むバッテリーバレー構想では「だれかのために」活動できる人があふれる社会をつくるのが肝心であると説きました。

第三部の懇親会では、清水敏男市長があいさつし、渡辺公平パストガバナーの発声で乾杯しました。ハワイアンズダンシングチームが見事なフラダンスを披露してくれました。座席はクラブごとにまとまるのではなく、円卓に各クラブのメンバーが分散して着席する配置で実施しました。初めて顔を合わせる会員も多く、それぞれに新しい絆を深めました。



2019~2020年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」

ROTARY CONNECTS THE WORLD

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」



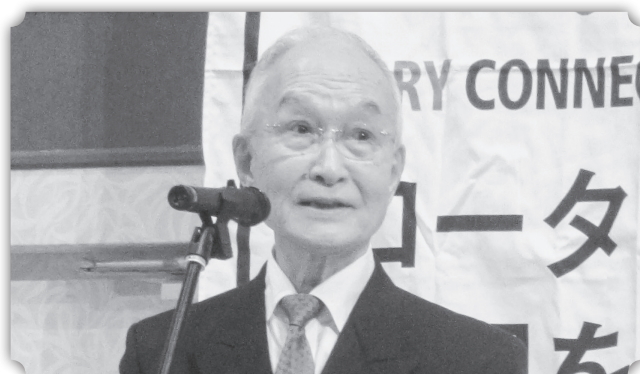
IMに臨むいわき平メンバー



勢ぞろいしたIM役員と来賓



声をそろえて乾杯



乾杯のあいさつをする渡辺パストガバナー



祝辞を述べる清水市長



講演する庄司氏



華やかに舞ったフラガール

★本日の例会案内 2月20日(木) 12:30 ~
国際奉仕委員会担当卓話

お食事メニュー=ロールキャベツ

★次回の例会案内 2月27日(木) 12:30 ~
第4回クラブ協議会

お食事メニュー=白身魚みぞれ煮、炊き込みご飯